



号外 **徳地町報**

1972、8/18

発行者 徳地町長

編集者 徳地町企画室

印刷所 今澄印刷所



山口県知事選挙

8月27日

山口県明るく正しい選挙推進協議会 山口県選挙管理委員会

八月二十七日

山口県知事選挙

一人もれなく総参加を

町民のみならず、八月二十七日は「山口県知事選挙」の日です。戦後、中央地方を通じて激回となく選挙が行なわれ、また近年では、高まりで進進されています。しかし、一人、一人の有権者がほんとうに選挙の意義と責任を自覚して、投票をしているのかどうか、それぞれ胸に手をあててじっくり考えて、よく反省してやる必要はないものでしょうか。

選挙の責任は

自分自身にもある

よくいわれることですが、選挙は選挙せられる側のものでなくあくまでも入選挙する側の責任Vに帰するもので、なければなりません。

この意味は、主権在民の日本国憲法の精神に合致しており、むしろ当然のことではないでしょうか。ですから、まずたいせつなことからして

● 棄権しないこと

棄権するということは、一個の公民として、せっかく憲法により与えられた入選挙という政治に参与する機会を、自分自身で放棄することになります。

近ごろ「政治」とか「選挙」というものについて、私たちの考え方は、見方が変わってきて、政治とおお所とは、入選挙Vというベルトを通して、直結されているということをも、広く認識されてきました。

● そこで、あなたもわたしも今

一歩ふみ込んで考えて、これから先四年間、私たち一人一人になつてもらう人、いいかえれば入私自身の代表Vを選挙するのだ……という真剣な気持ちをもつて、私一人ぐらゐ棄権してもたいした影響はないだろうなど考えないで、かならず投票に参加することがたいせつです。

● 選挙当日は、投票所に行つて

自分自身で、何ものにも束縛や強制されないく自分の意志で自分の思う候補者に投票することにはありますまいか。これこそ、憲法で与えられた

国民の入参権Vを行使することであり、選挙という方法を通じて、自己の責任を遂行することになるということです。

「火事が起るからマッチをするな」「火事を起さないために火を使いな」ということになつたら私たちの生活は、たいへん困つたことになりましよう。

必要なときは、火を使わなくてはなりません。ただ火々を使うときには、火事にならないよう注意しなくてはなりません。

これと同じように、「政治がうまくいかないのは、選挙が悪いからだ」……などもいわれています。確かに現在行なわれている選挙が、かならずしもよいとはいえず、政治の基礎となる選挙を行なわなくてはよいともいけません。

選挙は、私たちの生活をよりよくするために、私たちにかわつて政治をしてもらう代案者を選ぶために必要なものだから……このように考えましよう。

私たちが一人、一人の入一票Vの行使ということが、非常に大きなしかも重大な意義と責任のあることとがわかると思いませんか。

みなさん、あすのくらしと県政発展のため、八月二十七日の投票日には、みななそろつて投票に参加しましょう。

徳地町選挙管理委員会

この一票

わたしが政治する心

不在者投票制度を 活用しよう

棄権をなくしよう

昭和四十五年の法律の改正で、以前よりも「不在者投票」がたいへんやりやすくなりました。

そこで、選挙当日投票に行けない事情のある方は、この制度を活用され、棄権しないようご協力をお願いいたします。

不在者投票ができるのは

1、職務や業務のため投票の当日、投票所に行けない見込み

のとときは、その職務や業務に従事する場所が、自分の投票区の区域外であれば、不在者投票ができます。

(以前は、その市町村の区域外でなければならなかった)

2、不在者投票のための投票用紙等を請求するときは、その理由を申し立て、なお「その申し立てが真実である」という「宣誓」をあわせて提出すれば不在者投票ができます(以前は一定の証明が必要でした)

3、このほか、投票の一般的な方法や投票時間、字の書きなどについては、これまでと変わっておりません。



あすの山口県発展のために
みんな投票しましょう!!



あなたが、政治の主人公です。
あなたの一票は、あすの県政を程遠くせらねます。
あなたが、選挙の主役です。
あなたの大切な権利です。
運んで、選挙に参加しましょう。

選挙管理委員会・明るく正しい選挙推進協議会